

人権が尊重される明るく住みよいまちをめざして

人権とは、誰もが生まれながらに持っている人間らしく幸せに生きる権利です。しかし、私たちの周りには「偏見」や「差別」といった、人権に関わるさまざまな問題があります。正しい認識を深め、どうすれば解決できるのか、家族や友人などと話し合ってみましょう。



● 同和問題

- 日本社会の歴史的過程の中で形づくられた身分差別で、生まれ育った場所などを理由に、日常生活や結婚の際に差別を受ける我が国固有の人権問題です。
- 過去の特別対策事業などにより生活環境は大きく改善されましたが、心理的な差別の解消には至らなかったため、差別のない社会を実現することを目的として平成28年12月に「部落差別の解消の推進に関する法律(部落差別解消推進法)」が施行されました。
- 同和問題を口実に高額な書籍の購入を強要するなどの「えせ同和行為」は、同和問題に対して誤った認識を植え付け、同和問題解決を阻害する要因になっています。「えせ同和行為」には毅然とした態度をとることが重要です。

● 子どもの人権問題

- 虐待、いじめ(SNS上も含む)、体罰、児童ポルノなど



● 障害者の人権問題

- 道路の段差、エレベーターなどの未整備、車いすでの入店拒否、入居拒否、偏見や差別、虐待など



● インターネットによる人権侵害

- 他人に対する無責任な誹謗中傷や、プライバシーに関する情報を流すことは、人権侵害です。一人ひとりがモラルを守り、適正にインターネットを利用しましょう。



● さまざまな人権問題

- 外国籍のかた…「入居拒否」「ヘイトスピーチ」など
- HIV感染者・ハンセン病患者のかたなど…「日常生活や医療現場での差別」「プライバシーの侵害」など
- 犯罪被害者やその家族など…「プライバシーの侵害」「中傷」など



● 新型コロナウイルスに関連した人権侵害

- 患者・濃厚接触者、医療従事者などに対する誤解や偏見に基づく差別的取扱いや言動が見受けられます。新型コロナウイルス感染症は、誰もが気付かぬうちに感染し、感染させてしまう可能性があります。感染症に対して生じた偏見や差別が受診のためらわせ、感染を拡大させてしまうという負のスパイラルが懸念されます。医療従事者をはじめ、感染リスクと隣り合わせで働いている人々に敬意を払いましょう。



● 北朝鮮による拉致問題

- 市には、政府認定拉致被害者である田口八重子さんのほか、拉致の疑いがある特定失踪者が4人います。この問題の解決には、国民世論の盛り上がりが大変重要です。

● LGBTなどの性的少数者

- 身体の性別と性自認(心の性)が一致しなかったり、性的指向が同性や男女両方に向かうかたなどで、好奇の目で見られるなどさまざまな場面で偏見や差別にさらされています。偏見や差別を恐れてカミングアウト(性的少数者であることを自ら告白すること)ができない当事者も多く、本人の了解なく性的少数者であることを他人に暴露するアウティングは重大な人権侵害となります。

● 女性の人権問題

- 「男は仕事、女は家事」のような性別による固定的な役割分担意識、DV、セクハラ、ストーカー行為など



● 高齢者の人権問題

- 年齢などで一律に弱者と見るような誤った認識による偏見や差別、振り込め詐欺、悪徳商法、虐待など



問い合わせ…総務課 ☎048-271-9229 FAX048-258-1118